



2022年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月4日

上場会社名 株式会社エイチワン 上場取引所 東
 コード番号 5989 URL http://www.h1-co.jp/
 代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）金田 敦
 問合せ先責任者（役職名）取締役専務執行役員管理本部長（氏名）太田 清文（TEL）048-643-0010
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	79,904	11.8	△1,311	—	△1,142	—	△1,404	—	△732	—	△300	—
2021年3月期第2四半期	71,450	△22.7	△743	—	△1,087	—	△1,897	—	△1,032	—	241	—
	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2022年3月期第2四半期	△26.09		△25.81									
2021年3月期第2四半期	△36.81		△36.38									

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率	1株当たり親会社所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	165,065	71,667	67,130	40.7	2,387.89
2021年3月期	163,975	72,325	67,285	41.0	2,397.48

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2022年3月期	—	12.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	9.8	1,200	△67.9	1,000	△70.8	800	△71.8	28.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
 ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	28,392,830株	2021年3月期	28,392,830株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	279,860株	2021年3月期	327,645株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	28,084,127株	2021年3月期2Q	28,058,503株

- (注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2022年3月期第2四半期末 278,300株、2021年3月期末 326,100株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託(BBT)制度に関する株式会社日本カストディ(信託E口)が所有する当社株式の期中平均株式数(2022年3月期第2四半期 307,156株、2021年3月期第2四半期 332,808株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等その他の関連する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展する欧米や中国を中心に回復基調を辿っておりますが、感染力の強い変異ウイルスにより感染再拡大が断続的に続くなど、依然として新型コロナウイルス感染症の影響が続く状況下にあります。アジアでは、変異ウイルスによる感染拡大が深刻化しており、政府により発出された厳格な経済活動規制が企業の生産活動にも影響を及ぼしております。日本では、ワクチン接種の進展による個人消費の回復が期待されるものの、緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の実施が長引くなど厳しい状況が続きました。

自動車業界においては、景気回復に伴い新車需要は回復基調にあるものの、世界的な半導体供給不足やアジアからの部品供給の停滞等により、大半の地域で自動車の生産及び販売が減少するなど先行きの不透明感が増しております。

そのような中での当第2四半期連結累計期間の経営成績は、主力得意先向けの自動車フレームの生産台数が前年同四半期と比べ減少したものの、金型設備等の販売が前年同四半期を上回ったことに加え為替相場が前年同四半期に比べ円安水準にあったことなどから売上収益が799億4百万円(前年同四半期比11.8%増)となりました。利益面では、製造コストの増加により売上総利益が51億49百万円(同9.3%減)となり、その他の損益が増加したものの販売費及び一般管理費が増加したため、営業損失は13億11百万円(前年同四半期は営業損失7億43百万円)、金融損益の増加や持分法による投資利益の計上がありました。税引前四半期損失が11億42百万円(前年同四半期は税引前四半期損失10億87百万円)となりました。親会社の所有者に帰属する四半期損失は7億32百万円(前年同四半期は親会社の所有者に帰属する四半期損失10億32百万円)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

①日本

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前年同四半期に比べて減少したことから売上収益が193億38百万円(前年同四半期比6.0%減)、税引前四半期利益が2億6百万円(同57.4%減)となりました。

②北米

自動車フレームの生産量は前年同四半期並みだったものの、金型取引が増加したことなどにより売上収益は299億83百万円(前年同四半期比21.2%増)、税引前四半期損失が14億35百万円(前年同四半期は税引前四半期損失17億75百万円)となりました。

③中国

主力得意先向けの自動車フレームの生産量が前年同四半期に比べて大きく減少したものの、金型取引が増加したことや為替水準が円安に推移したため、売上収益は263億17百万円(前年同四半期比5.1%増)、税引前四半期利益は競争激化による利益率の低下により8億52百万円(同59.4%減)となりました。

④アジア・大洋州

主力得意先向けの自動車フレームの生産が前年同四半期を大きく上回ったことから売上収益は85億62百万円(前年同四半期比74.1%増)、税引前四半期損失は6億86百万円(前年同四半期は税引前四半期損失16億85百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における連結財政状態は、資産合計が1,650億65百万円(前連結会計年度末比10億90百万円増)となりました。これは営業債権及びその他の債権などが減少した一方で現金及び現金同等物、棚卸資産、有形固定資産などが増加したことによるものであります。

負債合計は、933億97百万円(同17億48百万円増)となりました。これは主に営業債務や借入金が増加したことによるものであります。

資本合計は、716億67百万円(同6億57百万円減)となりました。これは主に為替相場の円安によるその他の資本の構成要素の増加があった一方で、親会社の所有者に帰属する四半期損失の計上によるものであります。親会社の所有者に帰属する持分比率は40.7%(同0.3ポイントのマイナス)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税引前四半期損失の計上、棚卸資産の増加、有形固定資産の取得による支出、長期借入金の返済による支出等の資金の減少要因があった一方、減価償却費及び償却費、短期借入金の増加、長期借入による収入の増加等の資金の増加要因によって47億24百万円(前年同四半期比15億99百万円増)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ46億16百万円(217.9%)増加の67億35百万円となりました。これは主に営業債権及びその他の債権の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ11億92百万円(17.9%)増加の78億63百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果稼得した資金は、22億5百万円(前年同四半期は49億56百万円の支出)となりました。これは主に短期借入金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	183,000	4,600	4,000	2,600	92.64
今回修正予想 (B)	180,000	1,200	1,000	800	28.46
増減額 (B-A)	△3,000	△3,400	△3,000	△1,800	—
増減率 (%)	△1.6	△73.9	△75.0	△69.2	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	163,927	3,732	3,423	2,838	101.14

(修正の理由)

2022年3月期は、世界的な半導体の供給不足や新型コロナウイルスの影響によるアジアからの部品供給の停滞などにより、自動車生産の減少が想定されることから自動車フレームの販売が前回発表時の想定に比べ大半の地域で減少することが見込まれております。第2四半期連結累計期間の業績を踏まえるとともに、下期の自動車フレームの販売見通し等を踏まえ、売上収益、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益を修正いたします。なお、下期の為替レートは105円/ドルを前提としております。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,595	4,724
営業債権及びその他の債権	31,631	28,842
棚卸資産	23,512	25,624
その他の金融資産	2,239	1,262
その他の流動資産	2,356	2,674
小計	63,335	63,129
売却目的で保有する非流動資産	2,455	—
流動資産合計	65,791	63,129
非流動資産		
有形固定資産	81,902	84,869
無形資産	1,021	1,031
持分法で会計処理されている投資	6,280	6,505
退職給付に係る資産	2,045	2,361
その他の金融資産	5,862	6,057
繰延税金資産	637	668
その他の非流動資産	433	441
非流動資産合計	98,183	101,936
資産合計	163,975	165,065

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本		
流動負債		
営業債務	20,092	22,848
借入金	17,465	23,197
未払法人所得税等	564	263
その他の金融負債	4,008	3,836
その他の流動負債	11,189	7,535
流動負債合計	53,320	57,680
非流動負債		
借入金	27,850	25,414
退職給付に係る負債	7,604	7,246
その他の金融負債	1,078	1,285
繰延税金負債	1,382	1,403
その他の非流動負債	414	367
非流動負債合計	38,329	35,717
負債合計	91,649	93,397
資本		
資本金	4,366	4,366
資本剰余金	12,906	12,906
利益剰余金	49,700	48,575
自己株式	△244	△209
その他の資本の構成要素	556	1,491
親会社の所有者に帰属する 持分合計	67,285	67,130
非支配持分	5,039	4,537
資本合計	72,325	71,667
負債及び資本合計	163,975	165,065

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	71,450	79,904
売上原価	△65,772	△74,754
売上総利益	5,678	5,149
販売費及び一般管理費	△6,678	△7,166
その他の収益	363	908
その他の費用	△106	△203
営業損失	△743	△1,311
金融収益	84	277
金融費用	△417	△276
持分法による投資利益(△は損失)	△11	167
税引前四半期損失	△1,087	△1,142
法人所得税費用	△810	△261
四半期損失	△1,897	△1,404
四半期損失の帰属		
親会社の所有者	△1,032	△732
非支配持分	△864	△671
四半期損失	△1,897	△1,404
1株当たり四半期損失		
基本的1株当たり四半期損失(円)	△36.81	△26.09
希薄化後1株当たり四半期損失(円)	△36.38	△25.81

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期損失	△1,897	△1,404
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	1,825	506
資本性金融商品の公正価値測定	64	116
項目合計	1,890	622
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	355	330
持分法によるその他の包括利益	△106	151
項目合計	248	481
税引後その他の包括利益	2,139	1,104
四半期包括利益合計	241	△300
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	756	202
非支配持分	△515	△502
四半期包括利益合計	241	△300

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	13,054	47,564	△253	△3,668	△80	△3,036	△6,785
四半期損失	—	—	△1,032	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	1,456	64	268	1,789
四半期包括利益合計	—	—	△1,032	—	1,456	64	268	1,789
配当金	—	—	△364	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	8	—	—	—	—
その他の非支配持分の増減	—	△125	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	0	—	—	△0	—	△0
所有者との取引額合計	—	△125	△364	8	—	△0	—	△0
四半期末残高	4,366	12,928	46,166	△244	△2,211	△16	△2,768	△4,996

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	57,946	5,326	63,272
四半期損失	△1,032	△864	△1,897
その他の包括利益	1,789	349	2,139
四半期包括利益合計	756	△515	241
配当金	△364	—	△364
自己株式の取得	△0	—	△0
自己株式の処分	8	—	8
その他の非支配持分の増減	△125	125	—
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	—	—	—
所有者との取引額合計	△482	125	△356
四半期末残高	58,220	4,936	63,157

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素			合計
					確定給付制 度の再測定	資本性金融 商品の公正 価値測定	在外営業活 動体の換算 差額	
期首残高	4,366	12,906	49,700	△244	△1,277	763	1,070	556
四半期損失	—	—	△732	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	395	116	423	934
四半期包括利益合計	—	—	△732	—	395	116	423	934
配当金	—	—	△392	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	35	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	△392	35	—	—	—	—
四半期末残高	4,366	12,906	48,575	△209	△882	880	1,493	1,491

	親会社の所有 者に帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
期首残高	67,285	5,039	72,325
四半期損失	△732	△671	△1,404
その他の包括利益	934	169	1,104
四半期包括利益合計	202	△502	△300
配当金	△392	—	△392
自己株式の取得	△0	—	△0
自己株式の処分	35	—	35
所有者との取引額合計	△357	—	△357
四半期末残高	67,130	4,537	71,667

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期損失	△1,087	△1,142
減価償却費及び償却費	7,003	7,100
金融収益	△79	△94
金融費用	409	276
持分法による投資損益(△は益)	11	△167
有形固定資産売却損益(△は益)	△66	△656
有形固定資産廃棄損	92	115
営業債権及びその他の債権の増減(△は増加)	△8,854	3,124
棚卸資産の増減(△は増加)	△2,247	△1,860
営業債務の増減(△は減少)	4,783	2,437
退職後給付に係る負債の増減(△は減少)	△370	△291
その他	3,390	△1,036
小計	2,985	7,806
利息の受取額	28	22
配当金の受取額	160	132
利息の支払額	△418	△276
法人所得税の支払額	△637	△949
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,118	6,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,771	△10,403
有形固定資産の売却による収入	109	2,911
無形資産の取得による支出	△21	△33
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△1,911	—
その他の金融資産の取得による支出	△25	△33
その他	△50	△304
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,671	△7,863
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,118	5,292
長期借入れによる収入	9,476	5,082
長期借入金の返済による支出	△5,570	△7,240
リース負債の返済による支出	△387	△535
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	8	—
配当金の支払額	△364	△392
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,956	2,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69	52
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,579	1,129
現金及び現金同等物の期首残高	12,704	3,595
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,125	4,724

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	北米	中国	アジア・大洋州	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	17,192	24,442	24,963	4,850	71,450	—	71,450
セグメント間の内部売上収益	3,373	286	66	65	3,792	△3,792	—
計	20,566	24,729	25,029	4,916	75,242	△3,792	71,450
セグメント利益又は損失(△) (税引前四半期利益(△は損失))	485	△1,775	2,097	△1,685	△877	△209	△1,087

- (注) 1. セグメント間の内部売上収益は、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいております。
2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結
	日本	北米	中国	アジア・大洋州	合計		
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	15,549	29,744	26,064	8,545	79,904	—	79,904
セグメント間の内部売上収益	3,789	238	252	16	4,297	△4,297	—
計	19,338	29,983	26,317	8,562	84,202	△4,297	79,904
セグメント利益又は損失(△) (税引前四半期利益(△は損失))	206	△1,435	852	△686	△1,062	△80	△1,142

- (注) 1. セグメント間の内部売上収益は、総原価を勘案し、価格交渉のうえ決定した取引価格に基づいております。
2. 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益消去額であります。また、セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。